

ホテルの中庭ガーデン装飾

佐久平総合技術高等学校 生物サービス科 植物活用コース
3年 高野友里 近藤奈央 指導者 柳澤瑞樹

1 はじめに

令和5年度末、軽井沢町にあるホテルサイプレス軽井沢の支配人から、「高校生ならではのアイディアで中庭を装飾してほしい」と依頼があり、これまで学習してきた植物活用の知識や技術を活かしてガーデンデザインについて研究することにした。

2 目的

中庭装飾のデザインを考え、自ら栽培した苗等を極力用いて実際に施工し、さらにアンケート調査を実施してお客様の反応を探る。

3 材料および方法

- (1) 実施期間 令和6年4月1日から令和6年11月29日まで
- (2) 実施場所 ホテルサイプレス軽井沢 北佐久郡軽井沢町
- (3) 使用材料 アサガオ、バラ、カスミソウ、スターチス、パンジー、ビオラ、ペチュニア、マリーゴールド、サルビア、ジニア、アゲラタム、コリウス、チェッカーベリー、シロタエギク、ダイヤモンドスノーフロスト、プランタ、ガラスボール、ハンギングバスケット、支柱、フックなど
- (4) 実施方法
 - ① 事前に現地を訪れ、調査する。
 - ② パーゴラデザインを考えてまとめる。
 - ③ ホテルの方に提案をして考えを伝える(図1)。
 - ④ 花の定植をおこなう。
 - ⑤ お客様にアンケート(図2)に答えてもらえるように、アンケート回収ボックスを設置する(図3)。
 - ⑥ 基本的な管理はホテルが行うが、定期的に様子を見に行き、管理を行う。
 - ⑦ 秋も同様に②～⑥の手順で行う。
 - ⑧ アンケート結果を分析する。



図1 佐藤支配人に自分たちの考えを提案

～中庭装飾アンケート～ 担当者：高野友里・近藤奈央

私達は佐久平総合技術高校植物活用コースの生徒です。
 この度ホテルサイプレス様井沢様の協力により、「高校生が中庭を華やかにするプロジェクト」
 に取り組んでいます。主に石こうプランタとパーゴラテラスの装飾をさせていただきました。
 ぜひお客様にその評価をいただきたく、アンケートへの回答をお願いします。
 ご協力お願いします。
 回答期間：6月21日（金）から9月頃まで

I 石こうプランタの寄せ植え
 1 とてもよかった 2 よかった 3 普通 4 悪かった

II パーゴラテラスの印象
 1 とてもよかった 2 よかった 3 普通 4 悪かった

III パーゴラテラスの温度感
 1 寒い印象 2 涼しい印象 3 暖かい印象 4 暑い印象 5 特になにも感じなかった

IV その他

図2 アンケート



図3 アンケート回収ボックスの設置

4 結果と考察

(1) 夏の装飾 定植日6月21日

夏のパーゴラは冷涼感の出る空間をイメージしてデザイン画(図4)を作成した。パーゴラの壁側をグリーンカーテンのようにして覆い、風鈴をイメージして中に花を入れたガラスボールを上から垂らして、涼しさを演出するコンセプトを考えた。このデザインを元にして、準備できる草花を選定した。パーゴラを被う植物はアサガオとし、播種して苗を育て、鉢やプランタに移植して大きくした。他にも石膏プランタに植え付ける苗は学校で栽培したものを用いた。6月21日、石膏プランタやハンギングバスケットに定植をし(図5、6)、アサガオの鉢やプランタを設置した。また、ガラスボールの内部にはドライフラワーを置き、パーゴラの上部からひもでつるした。(図7)

図8は8月末のパーゴラの状況である。アサガオが上部まで伸長している部分と、パーゴラの半分ぐらいまでしか伸びていない株もある。デザインのようにグリーンカーテンとして覆うには、アサガオの株数を増やすか、葉の表面積の大きいゴーヤやヘチマなど植栽する必要がある。ハンギングバスケットはコリウスを中心にかなり株が大きくなり、バランスが悪い状態になってしまった。定期的にせん定や手入れをするなど、こまめな管理が必要であった。設置したガラスボールは図9のとおり、降雨の水が内部に入り、ドライフラワーが腐って変色した水が溜まってしまった。図10は8月末の石膏プランタの生育状況である。全体的に苗の生育が悪く、特にペチュニアは徒長して株が貧弱になってしまった。全体的にバランスが悪く、見映えが良くない。土は湿り気味で、日中でも建物の陰に入る場所があり、プランタの排水機能がないことから根が健全に伸長しなかったことが考えられる。石膏プランタの生育状況はハンギングバスケットと比較しても一目瞭然で異なり、特に排水性が生育に大きく影響すると思われる。よって、石膏プランタには半日蔭でも生育がしやすいものや極力かん水を抑えてやや乾燥気味に育てられるもの、もしくは根腐れがしにくく過湿気味でも生育が良好なものなど、石膏プランタの排水性を考慮した草花を選定することを今後の課題としたい。

図11、12はホテルの方が設置してくださったイルミネーションである。中庭全体が黄色に輝くイルミネーションで覆われ、パーゴラテラスの壁側には青色系のほのかな明かりが点灯し、まるでホテルが乱舞しているような幻想的な装飾がなされた。私たちのデザインにはなかった発想であり、中庭を夜も美しく飾る視点は今後も取り入れていきたい部分である。



図4 パーゴラの夏のデザイン



図5 石膏プランタへの夏の定植



図6 ハングングバスケットへの夏の定植



図7 装飾したガラスボール



図8 8月末のパーゴラ



図9 8月末のガラスボール



図10 8月末の石膏プランタ



図11 夏の夜を彩るイルミネーション

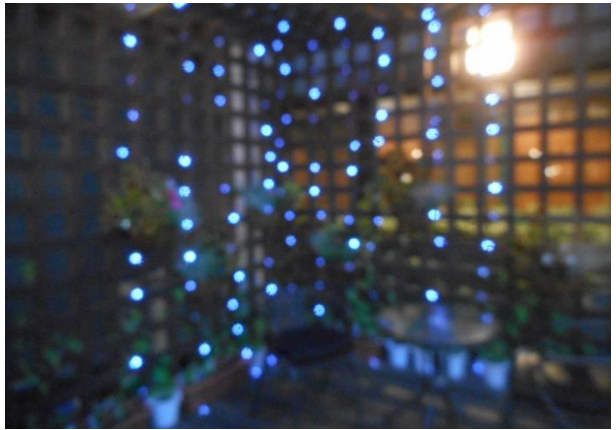


図12 ホテルが乱舞するようなパーゴラテラス

(2) 秋の装飾 定植日10月25日

石膏プランタとハンギングバスケットへの定植を行い(図13)、ハンギングバスケットの下にマリーゴールドを植えたプランタを設置した(図14)。最終確認は11月29日に行い、撤去等はホテルの方にお願いした。石膏プランタには学校で育てたハボタン、パンジーを植えた(図15)。10月になっても比較的気温が高かったことから、プランタには黄色のマリーゴールドを選んだ。ハンギングバスケットには、チェッカーベリーなどの実物やシロタエギクなど秋や冬を意識した草花を選び、全体的に暖かさを感じるデザインにした(図16)。



図13 石膏プランタへの秋の定植



図14 秋のパーゴラ



図15 秋の石膏プランタ



図16 ハングングバスケットの作製

(3) アンケート結果

夏のアンケート回収数は21であった。筆跡から外国人と思われる方や子どもの回答が多かった。石膏プランタ、パーゴラともに、「とても良かった」と回答した人が多かった。また、中庭の印象を「涼しい」と感じてくれた人も多かった。

秋のアンケート回収数は5であった。施工やアンケート設置期間が短く、回答数は少ないが、夏と同様に、「とても良かった」と回答した人が多かった。また、中庭の印象は「暖かい」と感じてくれた人が多かった。

5 反省と今後の課題

石膏プランタの植物の生育はあまり良くなく、石膏プランタの材質が影響しているのか、乾きにくい特性をもっている。そのため、ペチュニアは徒長して株が貧弱になり、マリーゴールドなども株が小さいままであった。次年度は、石膏プランタの設置されている位置における光の当たり方や排水性を考慮して、その生育環境に応じた草花を選定することを最優先課題としたい。また、ホテルの方が日々行っているかん水の時間、量なども想定して、草花の管理方法も打ち合わせをして進めていきたい。

パーゴラテラスにおけるガラスボールは飾るときれいだったが、降雨による水でドライフラワーの色が落ち、見た目が非常に悪くなってしまった。開口部を塞ぐ方法など雨除け対策をするか、貝殻など水が影響しないものを使用することを検討していきたい。また、ホテルの方と協力してイルミネーションも考慮した植物の配置を考え、より一体感がある装飾を考えていきたい。

アンケートは紙ベースで行ったが、お客様が気軽に回答できるよう、デジタル化も視野に入れてアンケートの取り方を工夫していきたい。また、アンケートの内容が単調であり、回答数も少なかったため、データとして分析するまでには至らなかった。景観に関する意識調査などを参考にして、内容を精査したい。

6 謝辞

ホテルサイプレス軽井沢様には、1年間中庭装飾の一部に携わらせていただき、貴重な経験を積ませていただきましたことに感謝申し上げます。また、本研究は長野県産業教育振興会の「特別生徒研究助成」を活用させていただき、研究に必要な資材を調達することができました。この場をお借りして御礼申し上げます。